

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月 (1回目)	更新年月 (2回目)	更新年月 (3回目)	更新年月 (4回目)	更新年月 (5回目)	更新年月 (6回目)
七戸町	七戸地区 城内、上町、新町・東大町、袋町、小川町、川向、蒼前、館野、南浦、川原町、新川原、柏葉町、向町、大池、膝森、荒熊内、治部袋、倉岡、銀南木、南斗内、作田、鍛冶林、八尺堂、左組、和田、高屋敷、八ヶ田、山屋、薬師平、上田、西野、萩ノ沢、道地、太田、大林、一ノ森、下見町、上見町、見町開拓、横長根、中村、荒屋、荒屋平、沼ノ沢、野左掛、寺下、農場	平成25年3月	平成26年2月	平成26年9月	平成27年3月	平成27年10月	平成28年3月	平成28年4月
		更新年月 (6回目)	更新年月 (7回目)	更新年月 (8回目)	更新年月 (9回目)	更新年月 (10回目)	更新年月 (11回目)	更新年月 (12回目)
		平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月
		更新年月 (13回目)						
		令和6年3月						

1. 今後の地域の中心となる経営体(担い手)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
認農	1		4 (3)	有	水稻 大豆	34.2 ha 24.5ha	水稻 大豆	40.0 ha 30.0 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	5
法	2		3 (11)	有	水稻 ながいも 飼料作物 肉用牛(繁殖)	18.0 ha 5.9 ha 7.3 ha 40 頭	水稻 ながいも 飼料作物 肉用牛(繁殖)	16.7 ha 7.1 ha 7.3 ha 80 頭		・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	2
認農	3		2人	無	水稻 ながいも にんにく 大豆	1.5 ha 1.0 ha 0.8 ha 0.9 ha	水稻 ながいも にんにく 大豆	1.5 ha 1.0 ha 0.8 ha 0.9 ha		・生産コストの低減	1
法	4		5 (14)	有	水稻 飼料作物	23.3 ha 5.7 ha	水稻 飼料作物	24.0 ha 5.7 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	1

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組 	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
認農	5		2人	無	ゴボウ ながいも にんにく 大豆	1.1 ha 1.3 ha 1.7 ha 0.4 ha	ゴボウ ながいも にんにく 大豆	1.1 ha 1.3 ha 1.7 ha 1.0 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	3
認農	6		4人	有	水稻 大豆	35.9 ha 18.1 ha	水稻 大豆	50.0 ha 30.0 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	4
認農	7		4人	有	ゴボウ にんにく トマト	0.9 ha 0.02 ha 0.2 ha	ゴボウ にんにく トマト	0.6 ha 0.3 ha 0.2 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	4
認農	8		3人	有	にんにく ねぎ トマト	0.4 ha 0.1 ha 0.2 ha	にんにく ねぎ トマト	0.5 ha 0.2 ha 0.2 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 	3
認農	9		2人	無	水稻 ながいも ゴボウ にんにく	5.4 ha 0.3 ha 0.3 ha 0.7 ha	水稻 ながいも ゴボウ にんにく	5.4 ha 0.3 ha 0.3 ha 0.7 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 	2
法	10		4人 (53人)	有	肉用牛(肥育) 肉用牛(繁殖) 経産牛 飼料作物 なたね	11,000 頭 20 頭 40 頭 85.1 ha 9.3 ha	肉用牛(肥育) 肉用牛(繁殖) 経産牛 飼料作物 なたね	13,000 頭 20 頭 45 頭 120.1 ha 9.3 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	1
認農	11		2人	無	水稻 ながいも にんにく ごぼう	1.5 ha 1.0 ha 0.8 ha 0.5 ha	水稻 ながいも にんにく ごぼう	3.0 ha 1.0 ha 1.4 ha 0.5 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・経営面積の拡大 ・生産方式の合理化 ・経営管理の合理化 ・農業従事態様等の改善 	2

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
認農	12		3人	有	水稲 飼料作物 肉用牛(繁殖)	4.7 ha 3.9 ha 22 頭	水稲 飼料作物 肉用牛(繁殖)	4.7 ha 3.9 ha 24 頭	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	4
認農	13		2人	無	水稲 ながいも 大豆 そば にんにく 飼料作物	1.6 ha 1.6 ha 9.9 ha 3.6 ha 0.02 ha 1.3 ha	水稲 ながいも 大豆 そば	3.0 ha 2.2 ha 15.0 ha 4.0ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	4
認農	14		2人	無	水稲 トマト	6.6 ha 0.1 ha	水稲 トマト	6.6 ha 0.1 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	1
認農	15		2人	無	水稲 大豆	0.0 ha 0.0 ha	水稲 大豆	31.0 ha 10.0 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	4
認農	16		3人	有	水稲 トマト	2.4 ha 0.4 ha	水稲 トマト	2.4 ha 0.4 ha		・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	2
認農	17		4人	有	水稲 ながいも にんにく ねぎ	2.8 ha 0.6 ha 0.7 ha 0.1 ha	水稲 ながいも にんにく ねぎ	2.8 ha 1.0 ha 1.0 ha 0.2 ha	○	・経営面積の拡大 ・生産方式の合理 化 ・経営管理の合理 化 ・農業従事者様等	2
認農	18		3人	有	水稲 ながいも りんご	4.8 ha 0.2 ha 0.2 ha	水稲 ながいも りんご	5.0 ha 0.6 ha 0.2 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	3

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
認農	19		2人	無	水稲 ながいも いんげん にんにく ねぎ	0.8 ha 1.4 ha 0.0 ha 0.0 ha 0.0 ha	水稲 ながいも いんげん にんにく ねぎ	0.8 ha 2.4 ha 0.1 ha 0.2 ha 0.5 ha	○		3
認農	20		4人	有	水稲 小麦 大豆 そば 飼料作物 肉用牛(肥育)	90.0 ha 2.4 ha 31.0 ha 30.0 ha 58.0 ha 20 頭	水稲 小麦 大豆 そば 飼料作物 肉用牛(肥育)	110.0 ha 2.4 ha 36.0 ha 30.0 ha 58.0 ha 25 頭	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	2
認農	21		4人	無	水稲 にんにく トマト いちご	5.0 ha 0.3 ha 0.3 ha 0.1 ha	水稲 にんにく トマト いちご	5.0 ha 0.3 ha 0.3 ha 0.1 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	3
法	22		4人 (7人)	有	水稲 飼料用米 小麦 大豆 そば 飼料作物	41.1 ha 49.8 ha 3.2 ha 59.3 ha 10.3 ha 37.3 ha	水稲 飼料用米 小麦 大豆 そば 飼料作物	55.0 ha 75.0 ha 5.0 ha 60.0 ha 20.0 ha 50.0 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	5
認農	23		4人	無	飼料作物 経産牛 育成牛 水稲	20.7 ha 30 頭 20 頭 0.2 ha	飼料作物 経産牛 育成牛 水稲	22.7 ha 32 頭 20 頭 0.2 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	1
認農	24		3人	有	水稲 トマト 飼料作物 肉用牛(繁殖)	8.9 ha 0.3 ha 4.0 ha 3 頭	水稲 トマト 飼料作物 肉用牛(繁殖)	8.9 ha 0.3 ha 4.0 ha 3 頭	○	・生産コストの低減	3
認農	25		2人	無	水稲 にんにく 飼料作物	4.5 ha 0.6 ha 3.1 ha	水稲 にんにく 飼料作物	5.0 ha 0.7 ha 2.0 ha	○	・生産コストの低減	2

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
認農	26		2人	無	水稲 トマト 肉用牛(繁殖)	3.9 ha 0.2 ha 10 頭	水稲 トマト 肉用牛(繁殖)	3.9 ha 0.2 ha 10 頭	○	・生産コストの低減	3
認農	27		2人	無	水稲 にんにく	1.7 ha 0.8 ha	水稲 にんにく	1.7 ha 1.0 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	4
認農	28		2人	無	水稲 にんにく トマト	2.9 ha 0.9 ha 0.2 ha	水稲 にんにく トマト	2.9 ha 0.9 ha 0.2 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	3
法	29		2 (20)	有	肉用牛(肥育) 肉用牛(繁殖) 飼料作物	3,500 頭 500 頭 9.2 ha	肉用牛(肥育) 肉用牛(繁殖) 飼料作物	3,700 頭 500 頭 9.2 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	5
認農	30		4人	有	ながいも にんにく	4.0 ha 0.5 ha	ながいも にんにく	4.0 ha 0.5 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	3
認農	31		5人	有	水稲 にんにく	1.4 ha 1.9 ha	水稲 にんにく	1.4 ha 2.4 ha	○	・生産コストの低減	2
認農	32		3人	無	水稲 アスパラガス 飼料作物 肉用牛(肥育) 肉用牛(繁殖)	0.4 ha 0.2 ha 15.6 ha 30 頭 55 頭	水稲 アスパラガス 飼料作物 肉用牛(肥育) 肉用牛(繁殖)	0.4 ha 0.2 ha 15.6 ha 30 頭 55 頭	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	30

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組 	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
認農	33		3人	無	水稲 ながいも にんにく アピオス トマト	2.5 ha 0.8 ha 1.3 ha 0.2 ha 0.2 ha	水稲 ながいも にんにく アピオス トマト	2.5 ha 0.9 ha 1.7 ha 0.2 ha 0.2 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	3
認農	34		4人	無	水稲 ながいも ゴボウ トマト	2.0 ha 0.4 ha 0.3 ha 0.1 ha	水稲 ながいも ゴボウ トマト	2.0 ha 2.1 ha 1.5 ha 0.1 ha		<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	2
認農	35		3人	有	水稲 大豆	5.8 ha 0.2 ha	水稲 大豆	6.0 ha 5.0 ha		<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・複合化 	4
認農	36		3人	有	水稲 にんにく トマト	0.4 ha 0.7 ha 0.3 ha	水稲 にんにく トマト	0.4 ha 0.9 ha 0.3 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	2
認農	37		3人	有	水稲 にんにく ごぼう トマト	1.9 ha 0.0 ha 0.5 ha 0.1 ha	水稲 にんにく ごぼう トマト	2.9 ha 0.3 ha 0.6 ha 0.1 ha		<ul style="list-style-type: none"> ・経営面積の拡大 ・生産方式の合理化 ・経営管理の合理化 ・農業従事者様等 	2
認農	38		2人	無	水稲 大豆 にんにく りんご	3.8 ha 2.1 ha 1.4 ha 3.7 ha	水稲 大豆 にんにく りんご	3.8 ha 2.1 ha 1.4 ha 3.7 ha		<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	R2
認農	39		3人	無	にんにく 大豆 ゴボウ 飼料作物	1.2 ha 5.4 ha 3.4 ha 1.4 ha	にんにく 大豆 ゴボウ 飼料作物	1.2 ha 5.4 ha 3.4ha 1.4ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	4

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組 	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
認農	40		2人	無	水稲 ながいも ごぼう にんにく トマト きゃべつ	1.5 ha 0.5 ha 0.6 ha 0.2 ha 0.1 ha 0.3 ha	水稲 ながいも ごぼう にんにく トマト きゃべつ	1.5 ha 0.8 ha 0.6 ha 0.4 ha 0.1 ha 0.3 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	3
認農	41		2人	無	水稲 飼料作物 ながいも 肉用牛(繁殖)	6.6 ha 8.3 ha 0.9 ha 12 頭	水稲 飼料作物 ながいも 肉用牛(繁殖)	6.8 ha 8.3 ha 1.2 ha 17 頭		<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 ・複合化 	1
認農	42		4人	有	水稲 ながいも にんにく ゴボウ	3.4 ha 0.4 ha 0.6 ha 0.3 ha	水稲 ながいも にんにく ゴボウ	3.5 ha 0.5 ha 0.9 ha 0.3 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	3
認農	43		3人	有	水稲 デントコーン 飼料作物 肉用牛(繁殖)	1.7 ha 1.6 ha 1.7 ha 28 頭	水稲 デントコーン 飼料作物 肉用牛(繁殖)	1.7 ha 1.6 ha 1.7 ha 28 頭	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	5
認農	44		2人	有	水稲	30.0 ha	水稲	30.0 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	2
認農	45		2人	無	水稲 ながいも ゴボウ にんにく	4.3 ha 0.6 ha 0.5 ha 0.1 ha	水稲 ながいも ゴボウ にんにく	4.3 ha 0.6 ha 0.5 ha 0.4 ha	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 	2
認農	46		2人	無	水稲 飼料作物 肉用牛(繁殖)	0.4 ha 12.0 ha 16 頭	水稲 飼料作物 肉用牛(繁殖)	0.4 ha 12.0 ha 20 頭	○	<ul style="list-style-type: none"> 生産コストの低減 経営面積の拡大 	4

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
認農	47		3人	無	水稲 ながいも にんにく 大豆 そば	3.6 ha 2.7 ha 1.8 ha 3.5 ha 0.0 ha	水稲 ながいも にんにく 大豆 そば	2.7 ha 3.5 ha 2.1 ha 3.0 ha 1.0 ha	○	・生産コストの低減	3
認農	48		3人	無	水稲 ながいも にんにく 牧草	3.3 ha 0.3 ha 0.3 ha 0.8 ha	水稲 ながいも にんにく 牧草	3.3 ha 0.5 ha 0.9 ha 0.9 ha		・経営面積の拡大 ・生産方式の合理化 ・経営管理の合理化 ・農業従事者増等	2
認就	49		1人	無	トマト にんにく	0.1 ha 0.0 ha	トマト にんにく	0.1 ha 0.2 ha		・新規就農 ・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	3
認農	50		5人	有	水稲 大豆 ながいも にんにく ゴボウ	1.8 ha 0.4 ha 0.5 ha 0.5 ha 0.4 ha	水稲 大豆 ながいも にんにく ゴボウ	1.8 ha 0.4 ha 0.6 ha 0.5 ha 0.5 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	1
認農	51		2人	無	水稲 ながいも にんにく ねぎ	0.4 ha 2.5 ha 0.5 ha 1.0 ha	水稲 ながいも にんにく ねぎ	12.0 ha 2.4 ha 0.6 ha 0.6 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 ・複合化	4
認農	52		3人	有	水稲 ながいも にんにく ねぎ ゴボウ 大豆	0.5 ha 0.6 ha 0.6 ha 0.3 ha 1.1 ha 0.5 ha	水稲 ながいも にんにく ねぎ ゴボウ 大豆	0.5 ha 0.6 ha 0.6 ha 0.3 ha 1.1 ha 0.5 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 ・複合化	5
認農	53		2人	無	水稲 ながいも にんにく	1.4 ha 0.7 ha 0.9 ha	水稲 ながいも にんにく	1.6 ha 0.7 ha 0.9 ha		・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	2

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
認農	54		2人	無	水稲 ながいも にんにく 飼料作物	2.5 ha 0.3 ha 0.6 ha 0.4 ha	水稲 ながいも にんにく 飼料作物	2.5 ha 0.3 ha 0.8 ha 0.4 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	1
認農	55		2人	有	水稲 にんにく	2.8 ha 1.4 ha	水稲 にんにく	2.8 ha 1.4 ha		・生産コストの低減 ・経営面積の拡大 ・複合化	3
認農	56		3人	無	水稲 ゴボウ ながいも にんにく ねぎ	3.1 ha 1.1 ha 1.0 ha 1.0 ha 0.2 ha	水稲 ゴボウ ながいも にんにく ねぎ	3.1 ha 1.1 ha 1.1 ha 1.0 ha 0.3 ha		・生産コストの低減	3
認農	57		4人	有	水稲 大豆 ながいも	2.5 ha 2.3 ha 0.4 ha	水稲 大豆 ながいも	2.5 ha 1.7 ha 1.3 ha	○	・生産コストの低減 ・複合化	1
認農	58		2人	無	水稲 ながいも 大豆	0.3 ha 1.3 ha 3.1 ha	水稲 ながいも 大豆	0.3 ha 1.2 ha 4.3 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	2
担い手	59		1人	無	水稲	1.3 ha	水稲	1.3ha		・生産コストの低減	1
担い手	60		1人	無	水稲	0.9 ha	水稲	0.9 ha	○	・生産コストの低減	1

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組 	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
担い手	61		3人	有	水稲	1.4 ha	水稲	1.4 ha	○	・生産コストの低減	1
担い手	62		2人	無	水稲 アズキ	2.0 ha 0.1 ha	水稲	2.0 ha 0.1 ha	○	・生産コストの低減	1
担い手	63		2人	無	水稲	4.6 ha	水稲	4.6 ha	○	・生産コストの低減	1
担い手	64		2人	無	水稲 大豆 ながいも	4.2 ha 0.9 ha 1.1 ha	水稲 大豆 ながいも	4.2 ha 0.9 ha 1.1 ha	○	・生産コストの低減	1
担い手	65		2人	有	水稲 飼料作物 肉用牛(繁殖)	3.5 ha 3.0 ha 3 頭	水稲 飼料作物 肉用牛(繁殖)	3.5 ha 3.0 ha 3 頭	○	・生産コストの低減	1
認農	66		1人	無	にんにく その他	0.3 ha 0.1 ha	にんにく その他	0.7 ha 0.1 ha	○	・生産コストの低減	4
認農	67		3人	有	水稲 飼料作物 ながいも ごぼう 肉用牛(繁殖)	3.9 ha 5.3 ha 0.2 ha 0.2 ha 5頭	水稲 飼料作物 ながいも ごぼう 肉用牛(繁殖)	5.0 ha 5.3 ha 0.2 ha 0.2 ha 15頭	○	・生産コストの低減 ・複合化	3
認農	68		3人	無	水稲 ながいも	7.7ha 0.4 ha	水稲 ながいも	10.0ha 1.0 ha		・生産コストの低減 ・複合化	4

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			
認農	69		3人	無	水稲 飼料作物 にんにく ながいも トマト 肉用牛(繁殖)	1.5 ha 10.0 ha 0.4 ha 0.5 ha 0.3 ha 9頭	水稲 飼料作物 にんにく ながいも トマト 肉用牛(繁殖)	4.0ha 10.0 ha 0.4 ha 0.4 ha 0.3 ha 10頭		・生産コストの低減 ・複合化	4
認農	70		2人	無	水稲 ながいも 大豆	1.3 ha 0.5 ha 1.0 ha	水稲 ながいも 大豆	1.3 ha 1.0 ha 1.5 ha		・生産コストの低減 ・複合化	4
法	71		3 (0)	無	水稲 ながいも 大豆 にんにく	11.1 ha 3.6 ha 3.8 ha 0.3 ha	水稲 ながいも 大豆 にんにく	15.0 ha 4.8 ha 4.0 ha 1.8 ha	○	・生産コストの低減 ・複合化	5
認農	72		2人	無	にんにく ながいも 大豆	1.2 ha 0.7 ha 0.0 ha	にんにく ながいも 大豆	1.2 ha 0.7 ha 0.8 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	5
認農	73		3人	無	水稲 肉用牛(繁殖)	10.6 ha 4 頭	水稲 肉用牛(繁殖)	15.0 ha 6 頭	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	5
認農	74		2人	無	にんにく ながいも ごぼう	1.2 ha 1.0 ha 0.3 ha	にんにく ごぼう	1.2 ha 0.5 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	5
法	75		1人	無	ごぼう 大豆 ばれいしょ	0.2 ha 0.6 ha 0.0 ha	ごぼう 大豆 ばれいしょ	2.0 ha 0.6 ha 1.0 ha	○	・生産コストの低減 ・経営面積の拡大	5

七戸町 人・農地プラン(七戸地区)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔取組年度〕		計画 〔5年後〕		農地中間管理 機構からの借 入希望の有無	・新規就農 ・6次産業化 ・高付加価値化 ・複合化 ・低コスト化 ・法人化 等の取組	取組 年度
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)			

【 記載上の注意 】

- ※ 「今後の地域の中心となる経営体」には、規模拡大による経営の効率化、6次産業化による農畜産物の高付加価値化、経営の多角化・複合化など地域農業の発展を牽引する経営体や将来こゝまた、認定農業者、大規模経営体、農業法人及び広域で営農する農業者がいれば、それらの経営体の意向を確認したうえで、地域の中心となる経営体として位置づけます。
- ※ 「属性」には、認定農業者は「認農」、法人は「法」、集落営農は「集」、認定新規就農者は「認就」と記載します。
- ※ 「経営体(氏名)」には、法人経営、集落営農など組織経営体の場合は、その組織経営体の名称を記載し、下段括弧書きで組織経営体の代表者名を記載します。集落営農の構成員である認定農業者については、その全ての認定農業者の「認農:氏名」を記載します。
- ※ 計画欄については、現状から概ね5年程度を記載する。(以下の計画欄についても同じ。)
- ※ 「新規就農・6次産業化……等の取組」には、経営発展のために今後取り組もうとする内容に合致する取組を選択し記載します。
- ※ 「その他」には、6次産業化支援事業、強い農業づくり交付金(経営資源有効活用対策事業)、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金など、活用が見込まれる関連施策がある場合に記載します。
- ※ 「備考」には、活用する県単独事業などの施策の内容、経営発展に向けて取り組む内容で特筆すべき事項等があれば記載します。

2. 1から見た地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている / 担い手はあるが十分ではない / 担い手がない

3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応	
担い手に集積・集約化する	○	多様な機械等の更新時期、農業者の高齢化や輪作地の確保困難時に離農であったり、耕作放棄地になる傾向がある。また、米価の下落や今後の経営所得安定対策の改正等により、一層離農(一部を含む)が加速化すると見込まれるため、今後高齢農業者や離農者等から担い手農家や新規就農者への農地の利用集積や作業受委託を図りながら、農地の有効活用を進め、新たな耕作放棄地の発生を防ぐ。また、人的集積から面的集積を図り低コストを推進していく。
担い手の分散錯圃を解消する	○	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	○	
耕作放棄地を解消する	○	
その他[右欄に自由に記載]		

4. 3についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応	
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	県、農業委員会、円滑化団体、農協等と連携し、農地中間管理事業のメリット等の周知を図る。 また、農地の利用集積を図る上で農地中間管理機構を第一に進め、人的集積から面的集積が図られるよう推進していく。
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
その他[右欄に自由に記載]		

5. 近い将来農地の出し手となる者と農地

〔国、都道府県に報告する場合は、農業者名を記載しますが、集落・地域で使用する場合は匿名とすることができます。〕

近い将来農地の出し手となる農業者(氏名)	年齢	現状 〔令和5年度〕		計画 〔令和6年度〕		利用しなくなる農地面積	農地中間管理機構への貸付け希望の有無		
		経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)	経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)		農地面積	貸付時期	
A	才	自己保全	1.6 ha	自己保全	1.6 ha	1.6 ha	有	1.6 ha	
B	才	自己保全	0.5 ha	自己保全	0.5 ha	0.5 ha	有	0.5 ha	
C	才	自己保全	0.2 ha	自己保全	0.2 ha	0.2 ha	有	0.2 ha	
D	才	自己保全	0.5 ha	自己保全	0.5 ha	0.5 ha	有	0.5 ha	
E	才	自己保全	0.9 ha	自己保全	0.9 ha	0.9 ha	有	0.9 ha	
F	才	自己保全	0.4 ha	自己保全	0.4 ha	0.4 ha	有	0.4 ha	
G	才	自己保全	1.5 ha	自己保全	1.5 ha	1.5 ha	有	1.5 ha	

※ 筆ごとの具体的な貸付等の計画がある場合は、「別紙：近い将来農地の出し手となる者の農地」に記載します。

6. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて)

取組事項	対応	コメント
生産品目の明確化		<p>水稲、野菜を中心とした土地利用型の複合経営を行っている農家が多く、一部では畜産や施設園芸を加えた複合経営が主な地域である。それゆえ、多様な機械等の更新時期、農業者の高齢化や輪作地の確保困難時に離農であったり、耕作放棄地になる傾向がある。</p> <p>今後、高齢農業者等から中心経営体への農地の利用集積や作業受委託を図りながら農地の有効活用を進め、新たな耕作放棄地の発生を防ぐ。また、農業後継者や新規就農者の確保に努めていく。さらには、効率的な高性能機械等の使用による低コスト化、農作物の高付加価値化にも積極的に取り組む。</p>
複 合 化	○	
6 次 産 業 化		
高 付 加 価 値 化	○	
新 規 就 農 の 促 進	○	
そ の 他 []		

別紙:近い将来農地の出してとなる者の農地

近い将来農地の 出し手となる者 (氏名)	耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号		貸付等の区分(m ²)			貸付等の 予定年度	農地中間管理 機構への貸付 を予定
					貸付	作業委託	売渡		
A		畑	放森	21番1	3,425				○
		畑	放森	21番51	378				○
		田	放森	21番54	12,421				○
B		畑	太田野	63番1	3,199				○
		畑	太田野	112番	2,005				○
C		畑	倉越	118番1	1,923				○
D		畑	太田	115番189	1,135				○
		畑	川去	85番1	1,848				○
		畑	川去	108番9	1,941				○
E		田	作田	38番	3,329				○
		田	作田	39番	4,072				○
		田	作田	56番2	1,934				○
F		田	笹田	100番1	703				○
		田	笹田	100番2	773				○
		田	笹田	100番3	45				○
		田	笹田	100番4	861				○
		田	笹田	100番5	2,313				○
		田	笹田	100番6	304				○
		田	笹田	100番7	64				○
G		田	清水頭	34番1	15,308				○

【 記載上の注意 】

※ 「5. 近い将来農地の出し手となる者」ごとに記載します。